



申  
1  
号

## 第34回定期大会

の発言に踏まえた  
申し入れを提出！






千葉地本は7月6日、「第34回定期大会」を開催しました。

代議員からは「職場で組合員を差別するような言動がある」「旅客からの暴力を受けたが、会社の対応に限界を感じたため、組合の弁護士に相談し解決に向かっている」「業務量が多いのに要員が少なく、現場の実態に見合っていない」など、不安・不満の中で苦労しながらも安全・安定輸送のために奮闘している実態が発言されました。

地本は、これらの課題を克服し、「会社の発展」と「組合員・家族の幸せ」を実現するために下記のとおり申し入れました。今後、支社との団体交渉で解決を目指します！



### 《申し入れ項目》

1. 各種施策の実施については、労使で真摯に向き合い、協議してから行うこと。  
また、各職場での説明は管理者および社員が理解し、納得をするまでおこなうこと。
2. グループ会社を含め、労働組合からの脱退を慫慂する言動や、行動を行う社員に対しては、厳正に対処すること。
3. 過半数代表選挙が行われる際には、投票の自由を保障するための管理体制とすること。
4. 暴力行為が発生した場合については、警察や加害者に対して、会社として厳正に対処することを鮮明にすること。また、示談となる場合には、示談金が支払われるまで、示談書への署名を行わせないこと。
5. 暴力行為防止のために警備員を増強し、最終列車まで警備・巡回を行うこと。  
また、暴力行為が発生した際は社員一人に対応させない体制を整えること。
6. 「電気部門の変革2022」により、新たにTEMSへ委託したエリアにおいて、輸送障害発生時にTEMSへ単独での出動を要請した回数を明らかにすること。  
また、「空振り覚悟」という名目のもと、同エリアで発生した軽微な障害にもJRが出動している事象もあることから、施策の趣旨に則りTEMSが単独で対応することを基本とすること。
7. 千葉信号通信技術センターでの時間外労働を削減するため、職場の実態に見合った工事計画を策定すること。また、サービス超勤防止に努めること。
8. 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」における若年出向を2022年9月末までに解消させるとともに、そのための具体策を明らかにすること。
9. グループ会社等への出向社員と本体社員との間に、労働条件や貸与物等に差が生じることがないようにすること。また、業務委託先のプロパー社員の離職を防ぐ対策として、JRの社宅・寮を利用できるようにすること。
10. 各系統で2019年度の修繕費が大きく減額されている理由を明らかにするとともに、安全で働きがいの持てる職場をつくりあげるために次年度は増額すること。

安心して働ける職場を創るため、労使の建設的な話し合いで課題解決を目指します！  
申し入れ項目に対して、皆様のご意見をお寄せください！